



聖心だより

<http://www.tky-sacred-heart.ed.jp>

2018年5月1日
聖心女子学院初等科
校長 大山 江理子
5月号

マリア様と共に 祈りと実行

校長 Sr.大山 江理子



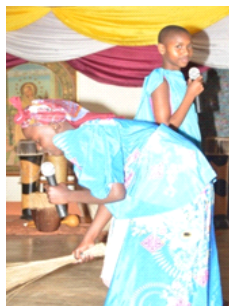
春が駆け足で過ぎていきます。前庭のモッコウバラは満開となり、マリア様を飾っています。

5月はマリア様の月。プラクティスが始まります。聖書には数多くの女性が登場しますが、イエスの母となるマリア様の役割は特別です。しかし、マリア様も家庭の中では、主婦、母としての日常の家事にいそしんでいらしたでしょう。

アフリカのウガンダの聖心から、3月8日の国際女性の日の活動のニュースが来ました。この日は国連により1975年に定められました。ウガンダのキャムサンサラにある聖心小学校では、この日ミサを行い、最初の女性エバに始まる、神に造られた女性としての賜を感謝しています。そして、聖心の子どもは学校で人格の全体を育む教育を受け、女子としてエンパワメントの意識をもって、しっかり生きていけるようにと祈りました。

添えられた写真を見ると、子どもたちが母親と子どもに扮して家での女性の役割について発表しています。お母さんは大きなほうきを持って床を掃除しています。掃除機を使う日本の生活とはだいぶ異なります。ウガンダの家庭では、女性はどのような立場なのでしょう。女子として育つことは、女子の特質を活かしつつ、女子の枠組みを超えていく視点や力も培っていくことです。ウガンダの聖心の子どもたちは、社会の流れや伝統にとらわれず、神から与えられた力を伸ばしていくよう促されています。初等科の子どもたちも同じです。

神から大きな恵みをいただいたマリア様は、その恵みを生きるために様々な困難に出遭いました。マリア様の偉大さは、初めの「はい」の答えを見失わなかったことです。祈りがマリア様を支えていました。プラクティスは日々の生活を神さまと共に生きる練習です。マリア様をお手本に、いただいた力を大きく伸ばしていく機会としたいものです。



5月の予定

1日(火) 6年保護者会	10日(木) 運動会全体練習②
2日(水) 1年生を迎える会	11日(金) 尿検査二次(該当者のみ)
5年保護者会	16日(水) 母の会代表幹事会
3日(木) 憲法記念日	18日(金) 運動会総練習
4日(金) みどりの日	25日(金) 聖マグダレナ・ソフィアの祝日
5日(土) こどもの日	運動会準備(午後)
7日(月) 1年・転入・編入生保護者会	26日(土) 運動会
4年保護者会	27日(日) 雨天予備日①
8日(火) 運動会全体練習①	28日(月) 運動会代休・雨天予備日②
3年保護者会	29日(火) 聖マグダレナ・ソフィアのお祈り会
9日(水) 2年保護者会	31日(木) 聖母戴冠式



マリア様の月のプラクティス
心をひらいて -神様、人、自然-



勇気をもって ……

副校長 大島 久幸

過日の合同保護者会及び学級懇談会には、ご多用の中、ご出席くださりありがとうございました。2018年度が始まり3週間が過ぎました。今年度の教育目標は「勇気をもって聖フィリピン・デュシェーンと共に歩む」です。

早速、いろいろな場面で勇気を発揮する子どもたちの姿を見ることができました。

年度初めには、3年生以上の学級では学級委員を決めます。職員室で各担任から立候補の状況と投票結果の報告があるのですが、どのクラスも大勢の立候補者がいることに驚きます。中には、とても大人しい子の名前もあったので、少し心配しましたが、進級をきっかけに自分を変えるために勇気をもって立候補したとの説明があり、素晴らしいと思いました。

そのような中で、他の枠組み作りも並行して行われています。

〈児童会選挙〉

17日(火)に、5・6年生から児童会の代表役員(会長1名、副会長2名、書記2名)を選ぶ、立ち会い演説会が開催されました。大勢の立候補者が一人ひとり、なぜ立候補しようと思ったのか、その役についたら何をしようと思っているのかなどを堂々と主張することができていました。今年は、「勇気」というキーワードを引用して、児童会がどのような役目を担うのか、どのようなことをしていこうと考えているかの主張が多かったです。今年の聖心の教育目標や今、課題になっていることにふれていることに、意識の高さを感じさせられました。

演説を聴いている4・5・6年生の子たちの聴く態度は、真剣そのもので、姿勢良く、耳を澄ませて、立候補者の発する言葉の一つ一つにうなずきながら聴いていました。

〈学校探検〉

19日(水)に、1年生が、6年生のお姉様方と一緒に初等科の校舎の中を探検しました。

2年生以上の子どもたちにとっては、いつもの見慣れた風景ですが、1年生にとっては、初めて見る部屋やマリア様のご像や絵など、興味津々で見えていました。探検と言っても、6年生のお姉様方と一緒になので勇気は必要ありません。しかし、聖フィリピン・デュシェーンが200年前にアメリカに上陸したときと同様の感動を味わえたのではないかと思います。

職員室前にはウサギのうめちゃんのゲージがありましたので、その周りに集まって眺めていました。少し緊張ぎみですが楽しそうな笑顔の1年生と、初等科の最上級生として一番小さな妹に少し腰をかがめながら手を繋ぐ6年生の温和な顔が、とても微笑ましかったです。

〈きれいでしょ〉

右の写真は、3年生の傘立です。今の6年生が3年生の時に、「傘の入れ方が美しくないけれども」と話したところ、「そろっていないからですね」と気づきました。そこで、写真のような入れ方を提案しました。それから、1度も傘の入れ方について話したことはありませんが、今の3年生も短い伝統ではありますが引き継いで、写真のようにきれいに傘をそろえて入れています。

傘立てでは、入ってさえいれば用が足りませんが、そこは聖心の子どもたちです。きちんとして丁寧なことに価値を見い出しているのだと思います。きっと10年後も同様にきれいに入っていると思います。



5月の生活目標

時間をまもる

- ・登下校の時刻
- ・就寝・起床の時刻
- ・家庭学習の時間等